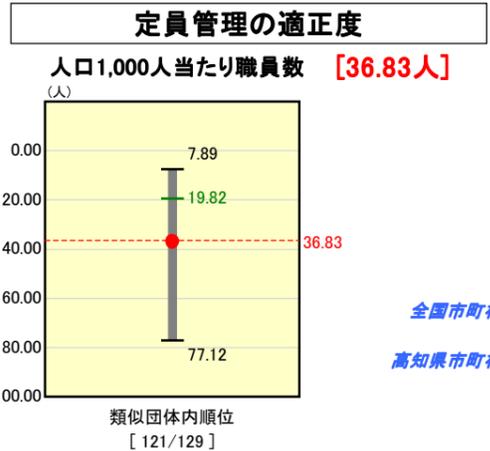
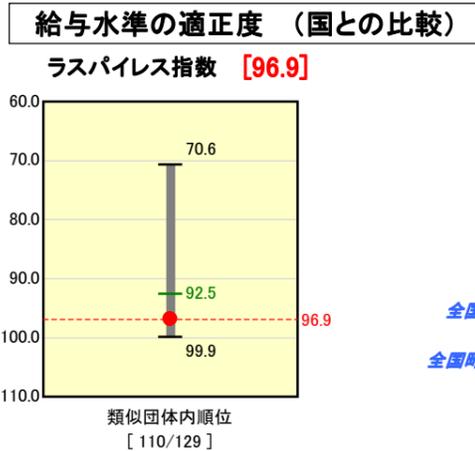
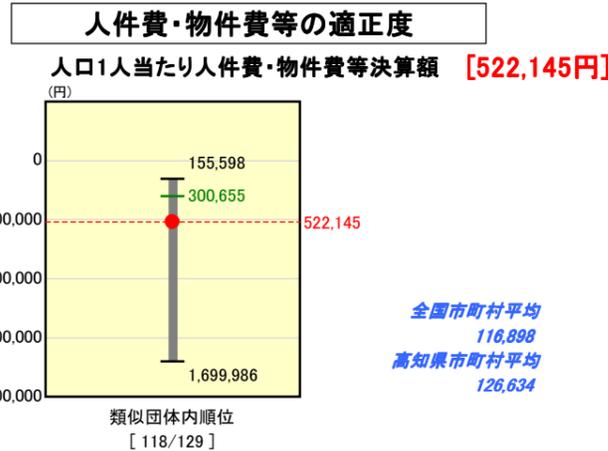
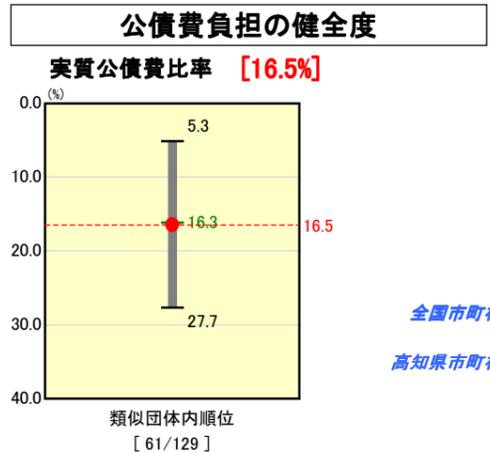
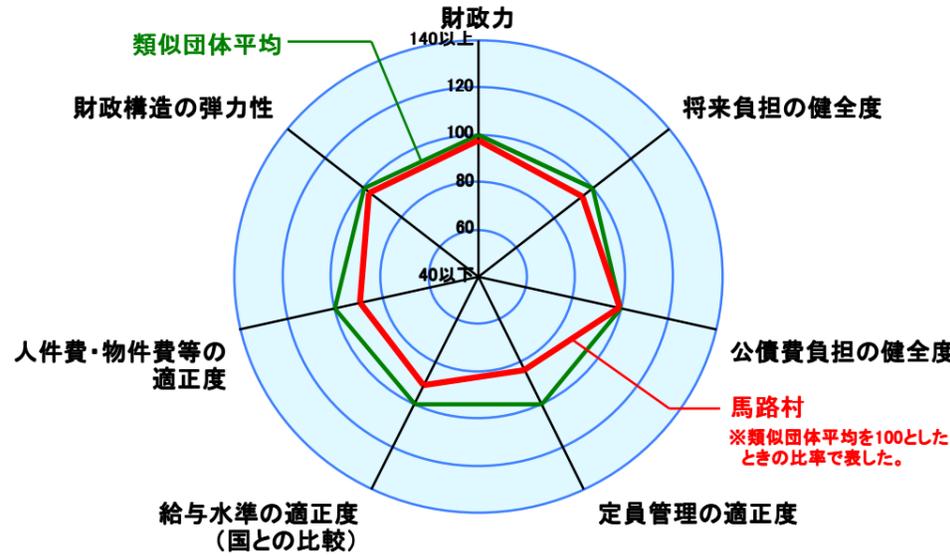
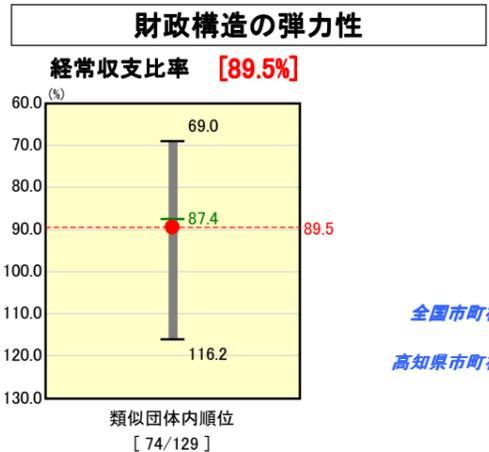
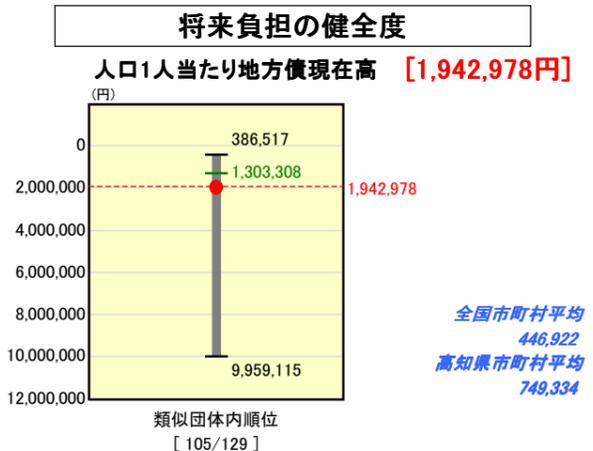
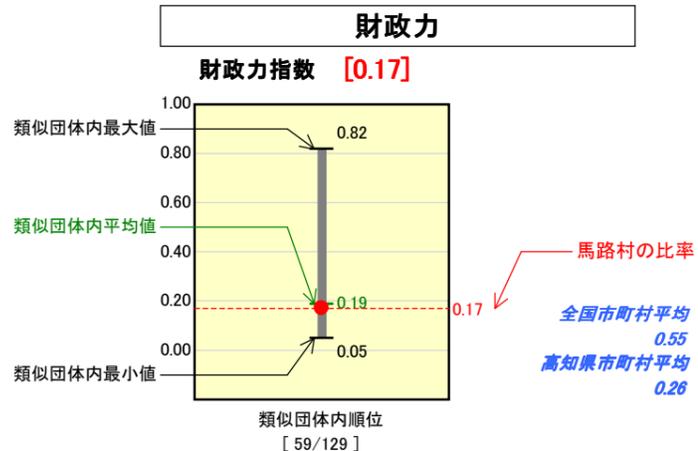


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 高知県 馬路村

人口	1,086	人(H20.3.31現在)
面積	165.52	km <sup>2</sup>
歳入総額	1,708,981	千円
歳出総額	1,627,183	千円
実質収支	37,055	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

### 分析欄

**財政力指数**

- ・地場産業の育成を強力に進め、個人、法人の所得向上を図っているが、実績に結びついていない。特に、景気低迷のよる、法人税、固定資産の減価償却費の落ち込みが大きい。

**経常収支比率**

- ・全ての事務事業の点検・見直しを行っているが、類似団体平均を上回っている。今後も経常経費の削減を図る。

**人件費・物件費等の適正度**

- ・公共施設の建設地のほとんどが、民間借地であり、物件費を押し上げている。また、地域事情により役場支所1箇所、村立診療所と村立保育所を2箇所設置しており、人件費、物件費を押し上げている。さらなる抑制や指定管理による委託料の抑制に努めていく。

**ラスパイレス指数**

- ・総人件費の抑制に努めた。今後もさらなる抑制に努める。

**人口1,000人当たり職員数**

- ・役場本所・支所・2箇所の診療所・2箇所の保育所など、地域の実情による行政施設の多さが職員数を押し上げている。必要なサービス提供と需要を見極め、適正化に努める。

**実質公債費比率**

- ・過疎債等有益な起債に努めてきたが、地場産業育成支援策の償還が始まり、実質公債費比率が類似団体より高めとなっている。償還額のピークは過ぎ、今後実質公債費率は減少していく。

**人口1,000人当たり地方債残高**

- ・地方債残高のピークを過ぎ、今後地方債残高も減少していく。施設整備事業からソフト事業への転換を図っており、類似団体の平均を下回るよう努力する。